

TOKYO MIDTOWN STYLE

東京ミッドタウンスタイル



Vol. 44

WINTER 2020



1900年フランス。パリ万国博覧会にはるか東洋のニッポンから、高さ2メートル有余の大花瓶が出品された。手がけたのは、深川忠次。江戸後期の着物の意匠や、フランスの伝統モチーフを独自の感性で昇華したデザインは、当時流行していたジャポニスムの波に乗り、喝采とともに迎えられたという。時は流れて2020年、東京ミッドタウンにオープンした「FUKAGAWA SEIJI 1894 ROYAL KILN & TEA」には、創業当時から変わることのない革新性と確かな技術が受け継がれている。透白磁に鮮やかな染付のブルーで描かれるユニークな絵柄は、まさに“職人が創る芸術”。一世紀を経てもなお、人々の感性を刺激し続けている。

TOKYO MIDTOWN STYLE
Essence of Creation
vol.7

澄んだ青が描き出す
世界が恋した“百年意匠”

光琳風染付銘々皿揃5枚セット(Φ14.5×H1.5cm) 50,000円(桐箱入り)、ブルーチャイナボット大(W18×Φ10.5×H14.5cm) 25,000円、モーニングカップ(W14.5×D10×H8cm) / 花見踊り10,000円、染付波に龍10,000円、三ツ足マグカップ(W11.5×Φ9×H8.5cm)/市松7,000円、光琳風染付25,000円、黄地うさぎ8,000円/FUKAGAWA SEIJI 1894 ROYAL KILN & TEA

Shop Data
FUKAGAWA SEIJI 1894
ROYAL KILN & TEA /
フカガワセイジ 1894
ロイヤルキルン アンド ティー
ガレリア3F ☎ 03-6447-5500

Create Relaxing Interiors

潤いのある家時間を叶えるインテリア

好きなものに囲まれて暮らすことが心地よい時間を運んでくれる。温かみがあって、暮らしが豊かになる。そんなインテリアのスタイルで定評のある石井佳苗さんが今必要とされるリラックスできる空間のつくり方をご提案。



観葉植物を入れたスタンダラタン39,000円(ヒップヘン)／Ron Herman サイドテーブル「ストーンウェアスカルプチャー」(φ32×H42cm)65,000円、窓辺に置いたキャンドルスタンド「タマキ」(右)3,900円、(左)4,100円、ホリゾンタルキャビネット(W180×D45×H72cm)485,000円、籐の椅子「ボウ」35,000円／すべてTIME & STYLE MIDTOWN サイドテーブルの上のアロマキャンドル(140g)5,800円／bamford ランジニア「フェリーチェ」(W56.6×D74.5×H67.8cm)180,000円／THE COVER NIPPON PH 3½-2½フロアランプ205,000円(ルイスボルセン)／ISETAN SALONE 窓際に置いたガラスのオブジェ「ボトルピープル」20,000円、スピーカー「リトルベル」150,000円／ともにSTYLE MEETS PEOPLE 右側スピーカー横のアロマディフューザーAW(150ml)5,500円／THANN チェアにかけたプランケット32,000円(エルヴァン)、キャビネットの上のブロック木版のオブジェ12,000円、アート「サイトウオンブリー」50,000円、アーテナ作馬のオブジェ100,000円、ラグマット「ベニワレン」185,000円／すべてIDÉE SHOP 左側スピーカー横のカラーキャンドルアンブル(300g)11,000円／diptyque 六本木 キャビネットの上の花を生けたフラワーベース「コンステラ」27,200円(クロング)、籐の椅子の上の照明「ザ・ボルチニーファミリー(小)」14,000円／ともにHIDA 床に置いたガラスの花瓶7,000円／TLB home

Profile 石井佳苗

いしいかなえ インテリア stylist。温かみのある、洗練されたスタイルが持ち味。インスタグラムのフォロワーも多い。「DAILY LIFE」(エクスナレッジ刊)他、著書も多数。オンライン講座も開催。

この機会に何かひとつでも取り入れて、豊かな家時間を手に入れたい。

New Lifestyle

新しい日常を 心地よく過ごすために

ライフスタイルの変化に合わせて、いろいろなことを変えてみたい。そんな気分が高まる今、毎日を快適にするためのいくつかのアイデアを、東京ミッドタウンでピックアップ。



居
心地のいい部屋をつくり、愛猫たちとゆったりと暮らすインテリア stylist の石井佳苗さん。「家で過ごす時間が増えて、誰もが今まで以上に住まいと向き合うようになりました。自分に必要なものを改めて見つめ直した人も多いと思います」物質的な豊かさではなく、自分が愛情をもっているものを身の周りに置くことが心地よさの鍵になる。

「小さな変化でもいいんです。大切にしているワイングラスや茶器を普段使いてみる、香りや花を取り入れるなどは、誰でも手軽にできる方法です」必要なのは好きなもので心地よい居場所をつくり、香りや灯りを活用してリラックスする時間もつこと。石井さんのアドバイスはとてもシンプルだ。

「私はパーソナルチェアが大好きで、よくおすすめしていますが、買ってみたら本を読んだり、クリエイティブなことをする時間が増えた。また照明を替えて、アロマをたくようにしたら睡眠の質が上がったという声をよく聞きます。インテリアを替えることで、生活のクオリティは確実に上がります」



照明

[WISE・WISE tools]

額縁型の照明を使って
アートを飾るような演出を

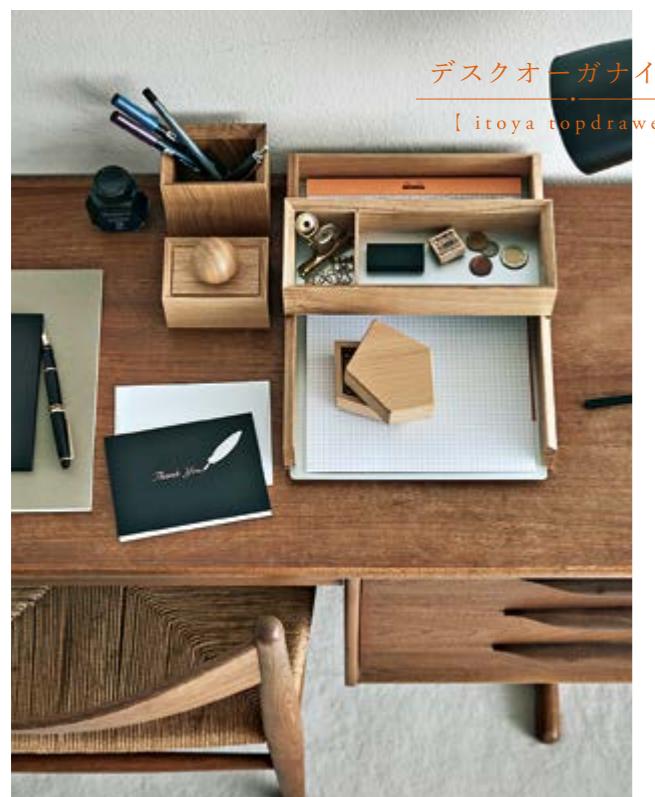
日中はインテリアとして、夜は光の陰影が味わえる照明。スポットライトのように、照らすモノを特別な存在に変える力も秘めている。額縁型のテーブルランプでお気に入りのオブジェを照らせば、手軽なモダンアートが完成。置くモノを替えると、また違った雰囲気が楽しめる。

a piece of forest HY-201テーブルランプ78,000円／WISE・WISE tools リサ・ラーソンのオブジェ18,500円／IDÉE SHOP

デスク上を好きなモノでまとめて
気分も仕事の効率もアップ

自分の好きなモノを一か所に集めるのもパーソナルな空間をつくるテクニック。家で仕事をする時間が増えたなら、この機会に書類トレイやペン立てなどをスタイルにそろえるのも一案。ブランドやフォルムは違っても、素材感を合わせるときれいにまとまる。

レタートレー12,000円、ツールトレー6,500円、ペンスタンド5,000円、ロッキングプロッター4,500円、ロッキングプロッターケース3,500円、鉛筆削り380円（リラ）、レグノシャープペンシル2,500円（パイロット）、水性マーカー各300円（トンボ）、オリジナルイートンペンシル80円、ボトルインク1,500円、万年筆33,000円（ともにウォーターマン）、サンキューカード560円（ボーラスキーン）、オリジナルノートブックB5 1,000円、測量ノート450円／すべてitoya topdrawer レターパッドの上の五角形の重箱（小2段）13,000円／HIDA

デスクオーガナイザー
[itoya topdrawer]サイドテーブルとしても使える
オブジェのようなスモールスツール

持ち運べる小さなスツールはさまざまな使い方ができて、あると便利なユーティリティアイテム。国産杉の自然の木目を生かして削り落としたこのスツールのようにオブジェ風のものを選べば、インテリアも華やいで一石二鳥。何かもうひとつプラスしたいときに最適。

スツール「wavok」(φ39× H40cm)73,000円／HIDA プレート（φ16.5cm）1,850円、フォーク850円（ともに青芳製作所）、ベルジャンタオル（55×65cm）3,900円／すべてTLB home

ラウンジチェアと照明で
心落ち着く居場所をつくる

ひとりがけの椅子やソファと素敵な照明を部屋の一角に置くだけで、そこが自分だけの特別な空間に。パーソナルチェアはリラックスできて座る姿も美しく、インテリアのアクセントとしても取り入れやすい。照明は夜の時間をドラマチックに演出するためのマストアイテム。

ラウンジチェア「スティング」185,000円、サイドテーブルの上のコーヒーポット「タマキ」6,300円、カップ&ソーサー「シロタエ」13,200円／すべてTIME & STYLE MIDTOWN ライト「ランバーデールアンルミエール」78,000円、床に置いたアート（右）「サイ・トゥオンブリー」35,000円、（左）「タガミ」160,000円、トルコラグ120,000円／すべてIDÉE SHOP 窓辺に置いたエッセンシャルオイル AW（10ml）2,900円／THANN サイドテーブル参考商品／TLB home フラワー付き花器（右）23,000円、（左）13,000円（ともにフェデリカ ブバー）／Ron Herman

心が躍るパーソナルな
空間を持つひとりがけソファと照明
[TIME & STYLE MIDTOWN
/ IDÉE SHOP]

リフレッシュするために いくつかのアロマグッズを

精油の効能を利用して、朝晩、あるいは場所に合わせて手軽に気分転換が叶う。ディフューザー、キャンドル、お香とタイプの違うアロマグッズを家の中に分散させて、TPOに合わせて使い分けても。天然の香りは部屋に残らず、違う香りをミックスしても調和するのが魅力。

ウイローディフューザー(250ml)9,600円／bamford フレグランスキャンドル フドワ(190g)7,900円、キャンドルホルダー コートブラット(190g用)14,000円、スナッパー エキセントリック5,400円、キャンドルスタンド エキセントリック3,900円／すべてdiptyque 六本木 お香「ポケット ラブキャロット」1,800円(東京香堂)、サイドテーブル(W41.8×D41.8×H45cm)216,000円／ともにSTYLE MEETS PEOPLE ミラー「アマテラス」56,000円／TIME & STYLE MIDTOWN



ディフューザー・
フレグランスキャンドル・お香
[bamford / diptyque /
STYLE MEETS PEOPLE]



タオルやプランケットは
素材にこだわって気持ちよく
肌に直接触れるリネン類は、天然素材にこだわりたい。
国内で丁寧に織られたリネンワッフル生地のタオルは、
使うほどにやわらかく、なじんできて愛着がわく。同素材
のプランケットはソファやベッドカバーにも応用が可
能。籠を利用した収納で、部屋に温かみを添えて。

リネンワッフルタオル(43×80cm)3,300円、(60×150cm)7,300円、ブ
ランケット(140×200cm)21,000円／すべてTLB home 吉田佳道さ
さなみかご(中)16,000円／WISE・WISE tools

ワッフルタオル
[TLB home]

リラックスのための 贅沢な時間をつくる

お気に入りの花瓶に 四季を感じる花を生ける

自然を感じる季節の花を飾ると、日々の暮らしが潤う。
複数の花瓶を常備すれば、花を見たときに想像力がふくらみ、感性まで豊かになっていく。口の広いタイプは花を低めに生けるのがポイント。デザインがきいた花器なら単体で置くだけでも様になって、オブジェ的にも使える。

白い花瓶(右)36,000円、(左)59,000円(ともにマチルド マーティンセラミックス)、茶色の花瓶73,000円(カルヤー セラミックス)／すべてRon Herman



花瓶
[Ron Herman]



茶香炉
[THE COVER NIPPON]

茶香炉とティーセットで お茶の時間とその先を楽しむ

温かいお茶を飲む機会が増える冬。茶香炉をそろえれば、ティータイムの後、出がらしを利用して香りも味わえてサステナブル。空間を香らせることで、さらなる幸福感を味わい、清々しい気持ちに。好みの茶道具とセットにして、心身の疲れを癒やす、至福のひとときを手に入れたい。

茶香炉「嘉久正窯 白磁」12,000円、急須 ひさご43,000円、茶壺 ひさご32,000円、茶合7,000円／すべてTHE COVER NIPPON トレー「ウッドライン」4,800円／TIME & STYLE MIDTOWN



[BEAMS HOUSE]

カーディガン感覚で着られる
一枚仕立てのジャケット

テレワークが浸透し、仕事着もスーツのような堅いものからリラックス感のあるスタイルに変化。一見クラシックなチェック柄のジャケットは、軽い一枚仕立てでカーディガンのような着心地。タイドアップもできて、羽織りものとして使いやすい万能な一着。

ジャケット54,000円 (T-JACKET) / BEAMS HOUSE



「T-JACKETはイタリアの高級ブランド、トネッロが手がけるカジュアルライン。革新的な技術で仕立てられたジャケットとして、知名度を上げています」(スタッフ林ジェフリー深介さん)



[STRASBURGO]

軽量レザーのバックパックは
ON/OFFに使えると大好評

サステナブルの視点から、クオリティ重視でものを選ぶ人も増えてるといふ。やわらかで非常に軽いシボ革のバックパックは、ゴールドの金具にも品があり仕事にも活用できるデザイン。ナイロンが主流のバックパックも上質な革製品を選ぶことで、長く愛用できる。

バックパック (H31×W39×D17cm) 134,000円 (Cisei) / STRASBURGO



「ビジネスシーンではブリーフケースやトートバッグよりもバックパックが躍進しています。中にはノートPCを収納しやすい大きなポケットもあり機能的」(スタッフ佐々木広人さん)

Modern Must-Have Fashion

今、必要とされる
ファッションの条件

どんなときでもファッションは、自分らしさを表現してくれる大切な存在。ライフスタイルの変化に沿った、気持ちが上向くようなおすすめの新作を、東京ミッドタウンのショップがご紹介。

Photos:Hidetake Nishihara[TENT](still),Hiroaki Shinohara(report)
Styling:Kazuyo Tateishi Text:Hisami Kotakemori



[ISETAN SALONE]

ショート丈のファーアウターや
洗えるニットをラインナップ

軽く羽織れるアウターが欲しいという要望に応えて、今季提案しているラビットファーのジャケットは、モダンで着回し力の高いノーカラーのショート丈がおすすめ。上質なカシミヤで注目されるJUMPER1234からはホームクリーニングができるカーディガンをセレクト。冬のおしゃれが楽しくなる色合いもポイント。

〈右〉ファージャケット98,000円 (H BRAND)、〈左〉カーディガン89,000円 (JUMPER1234) / ISETAN SALONE



〈右〉「カシミヤ100%ならではの肌ざわりの良さが魅力。ベーシックなグレーにレインボーカラーのステッチが家中でも気分を上げてくれます」
〈左〉「ファージャケットはドレッシーなワンピースにはもちろん、デニムとも好相性。着こなしが洗練される万能アウターです」(スタッフ佐野美奈さん)



[PLAIN PEOPLE]

良質なウールジャージー素材のベストは
リラックス感もポイント

今必要とされる動きやすさや、温度調整のしやすさを落とし込んだチュニックベスト。上質なウールジャージー素材は軽い着心地で、カットソーに合わせるだけでこなれたコーディネートが完成する。冬の重さを払拭するホワイトが推し。

ベスト45,000円／プレインビーブル

「サイドにスリットが入っているのでワイドパンツを合わせても足さきが良く、ヒップが隠れる長めの着丈もうれしいと好評です」(店長 林悠子さん)



[LOEFF]

ロングコートに求められる上品さと軽い着心地を実現

外出する機会が減ったからこそ、お出かけには気分を上げてくれるウェアをまといたい。ウールカシミヤ素材の二重織りメルトンコートはそんな要望にぴったり。流行に左右されない普遍的なチェスター風のデザインも魅力。

コート90,000円／LOEFF

「足が美しく見えるソフトポイントトゥ。見た目よりも幅が広めでラクに履いていただける形です」(ショップマネージャー 内山亜沙子さん)

[The SECRET CLOSET]

マルチに着こなせる品のいいレオパード柄ワンピース

ファッションを楽しみたいという声も多く、デザイン性の高いドレスに力を入れている。ベルベットにオパール加工を施したシルク混のドレスは、昼と夜で表情が変わり、さまざまなシーンで女性らしさを演出してくれる。

ドレス190,000円／The SECRET CLOSET

「ウエストにゴムが入っているのでブラウジングしてシルエットを変えることができます。深みのあるグリーンでレオパード柄も上品に」(店長 重原佐知子さん)



[Felisi COLLECTION]

上質な素材で気持ちが華やぐ
ワインターホワイトに注目

小ぶりながら容量があって、外出に必要なものが気持ちよく収まるミニバッグ。安心感のある定番商品は、ホワイトのような気分が上がる色が好評。キップレザー×ハラコのコンビネーションがワントーンにニュアンスを添えてくれる。

バッグ (H23×W22×D11cm) 84,000円／Felisi COLLECTION

「2018年からのベストセラーで、この素材と配色は東京ミッドタウンの限定。ショルダーストラップがついている2ウェイです」(スタッフ 梶原隼さん)



[ADEAM]

フェミニンなセットアップで家時間をスタイリッシュに

カジュアルすぎないクレープ素材のセットアップ。シワになりにくく、動きやすいサイズ感で部屋着としても着心地がいい。フードや裾のフリルのあしらいが美しい、ちょっとした外出でも洗練された印象をキープ。ホームクリーニングもできる。

フーディー65,000円、パンツ59,000円／ADEAM

「ジャバニーズポリクレープはADEAMの定番素材。フリルのようなデザインも甘くなりすぎず、デイリーに着ていただけます」(ADEAMスタッフ)

鯛とほたてのカルパッチョ

ブロックカットが美味しさの秘訣

鯛とほたて貝柱、食感の異なる食材を同サイズのブロック状に切り、白い調味料をまとわせた。食材をいつもと違った形にカットすることで、食べ応えのある一品が手軽に完成。

材料(作りやすい分量)

鯛(刺身用) 1さく ほたて貝柱5個 ラブティットエビスリー 白バルサミコ⑤適量 ラブティットエビスリー エクストラバージオリーブオイル⑥適量 ラブティットエビスリー ソルトゲランド⑦適量 白いエディブルフラワー、オリーブの塩漬け各適量

作り方

1. 鯛は全体に軽くソルトゲランドをふり、約15分置いたらキッチンペーパーで水気をふく。
2. 鯛とほたてを2cm角に切る。
3. ボウルに2を入れ、白バルサミコをさっと和え、器に盛る。ソルトゲランドをふり、オリーブオイルを全体にたらし、オリーブの塩漬けを添え、エディブルフラワーを散らす。

pick up!



調味料と食材⑤白バルサミコ(100ml)1,350円、⑥エクストラバージンオリーブオイル(100ml)1,350円、⑦ソルトゲランド(100g)1,700円(すべてラブティットエビスリー)／すべてIDÉE SHOP グラス8,500円／TIME & STYLE MIDTOWN



コインパスタのホワイトソース

存在感のあるコインパスタが主役

型押し模様入りのコイン状パスタは、ソースにからめるだけでごちそうに。ボルチーニと白トリュフのペーストと生クリームを混ぜた簡単ホワイトソースで至福のイタリアンに。

材料(2人分)

ボルチーニと白トリュフのペースト⑧大さじ4 生クリーム大さじ2 クロシェッティ(コイン状のパスタ)⑨140g ベコリーノマーノ適量 マッシュルーム(薄切り)適量 オリーブオイル 少々

作り方

1. パスタは材料外の塩を入れた湯でアルデンテに茹でる。その間にトリュフペーストと生クリームを合わせ、ソースを作る。
2. パスタは水気を切って器に盛る。オリーブオイルをかけ、1のソースをかけ、マッシュルームを盛り付け、薄切りにしたベコリーノマーノを散らす。

pick up!



調味料と食材⑧ボルチーニと白トリュフのペースト(80g)2,300円／Artisan de la Truffe Paris ⑨クロシェッティ(500g)700円／DEAN & DELUCA



Christmas Dinner Ideas

手軽で華やか。クリスマスディナーの新しいスタイル

家で食事をする時間より豊かに、と考える人が増えている。食材にこだわって料理を作ったり、テイクアウトの盛り付けにひと手間加えたり。クリスマスの食卓を楽しむアイデアをご紹介。

こだわりの食材でスタイリッシュな一皿を

東京ミッドタウンで手に入る調味料や食材を取り入れれば、クリスマスをイメージした目にも美味しい料理が短時間で完成する。

クリスマスブーケサラダ
2種のソース添えテーブルに花が咲く
赤いワントーンサラダ

野菜の色をまとめるだけで、サラダも格段におしゃれに。紫にんじんを水にさらし、カールさせるのがポイント。クリームとオイル、2種類のソースで味に強弱を。

材料(作りやすい分量)

赤色の葉野菜や根菜(赤アンディーフ、ラディックキオ、紫にんじん、紅芯大根、赤大根など)、ざくろ各適量
【皿にふた塩オイルソース】UMAMISALT ブレーン①小さじ1 レモン汁大さじ1 菜種油にんじん②大さじ2
【器に入れたクリームタブナードソース】マスカルポーネ③50g タブナード④大さじ1 レモン汁大さじ1 塩、こしょう各適量

作り方

1. 赤い葉野菜は一枚ずつに、根菜はスライサーで薄切りにし、冷水に放した後、水気をよく切り、パリッとする。
2. 塩オイルソースを作る。ボウルにUMAMISALTとレモン汁を入れ、にんじんオイルを少しづつ加えてよく混ぜる。クリームタブナードソースは、ボウルにマスカルポーネ、タブナードを入れ、電子レンジで約5秒加熱したら手早く混ぜる。粗熱が取れたらレモン汁、塩、こしょうで調味する。
3. 器に1の野菜を盛ったらざくろの粒を散らし、2種のソースを添える。

調味料と食材①純米酒粕使用 UMAMISALT ブレーン(50g)1,100円／SAKE SHOP 福光屋 ②プラスオイル 国産菜種油にんじん(45g)960円／ISETAN SALONE ③Brimi マスカルポーネ(250g)1,200円、④タブナード(130g)900円／ともにDEAN & DELUCA グラス2,300円／IDÉE SHOP

違いを味わうスイーツタイム

華やかなケーキに大人顔のチョコレートと滋味深いショートブレッド。タイプの違うスイーツをセレクトして味わいに奥行きを。大きめのプレートに並べて洗練した印象に。

イチゴとバニラのクリームを使ったフランスの伝統菓子を、マカロン生地でサンドしてモダンに昇華。「ノエル フレジエ」(直径約14×H3cm 4～5人用)5,000円※12月15日まで予約受付。12月19日～25日に受け取り／pâtisserie Sadaharu AOKI paris ナッツとフルーツがぎっしりつまつた、長く味わえるクリスマス菓子。「ショートレンジ」2,900円※12月25日までの限定販売／MAISON KAYSER アートピースのように美しく、カカオの風味豊かな「ボンボン ショコラ」各320円、軽やかな口どけの「トリュフ ドゥ トリュフ」各320円／ともにJEAN-PAUL HÉVIN ティエボット7,000円、デミタスカッパ各1,900円、デミタスソーサー各1,200円、キャンドルスタンド4,100円／すべてTIME & STYLE MIDTOWN



クリスマス気分を 盛り上げるスイーツたち

クリスマスディナーのフィナーレは、この時季ならではのスイーツ。
ただ甘いだけじゃない、心揺さぶる味とともにそのフォルムも愛でながら
甘美な時間をじっくりと、心ゆくまで楽しみたい。

file

日本彩子

もとさいこ 料理家。料理サ
「FOOD LETTER」主宰。ケー
リングユニットを経て、現在は
教室主宰、雑誌などで幅広く
。日常をアップデートするしゃ
レレシピ、美しい盛り付けにファ
数。hashimoto-saiko.com



テイクアウトに
トと手間加えて贅沢に

菜やメイン料理にテイクアウトを活用すれば、
族や親しい仲間とのディナーも豪華に演出できる。
り付けでひと工夫するのが成功の鍵。

器の色は抑えめに、
添えもので
料理を立てる

サラダはグラスに盛り付けしゃれた一品に。生ハムとチーズはようじでピンチョス風、フライはカットしてグリーンを添えフレッシュに。鶏の丸焼きにはオリーブで彩りを。あえて日本酒とのペアリングで味覚の世界観を広げるのも一案。

香ばしくてジューシー。「香草美水鶏丸焼き」2,685円
※12月10日から予約にて販売、店頭販売は12月23日～
25日／鶏三和 バザク感と白身魚の食感のコントラストが絶妙!「コーンフレークフィッシュフライ サワークリーム＆スイートチリソース」(2枚)500円、エキゾチックな味わいの虜に。「かぼちゃのロースト スパイシーナッツ＆ヨーグルトクリーム」(100g)500円／ともにPARIPIA DELICATESSEN 美力アップ食材が豊富なパワーサラダ。「EARTHY NUTTY CRUNCHY」(一人前)
1,074円／CRISP SALAD WORKS ディルを飾って風味をUP。「牛牛モツツアレラ&サンダニエーレ産ブロシュット」(一人前)900円／OBICÀ MOZZARELLA BAR「日本酒（有機純米酒）禮と穏 フクノハナ」(720ml)
3,800円／SAKE SHOP 福光屋 サラダに添えたピックフォード各750円、左下に重ねた遠藤岳ブレート各4,000円／ともにWISE・WISE tools

パラダイムシフトが進む現代社会で、生活はどう変わるのか？またそれをどう受け止めていけばよいか。

「ワイスコロナ時代を前向きに生きるマインドを求めて、トップランナーである彼らが取り組んでくることなどを聞いた。」

Photos:Hiroaki Shinohara(P20-23) Text:Masayuki Sawada/Hisami Kotakemori

今は、新しい発明や発見が生まれるチャンスのとき



Ochiai Yoichi

落合陽一

Profile

メディアアーティスト。東京大学大学院学際情報学府博士課程修了。筑波大学デジタルネイチャー開発研究センターセンター長、准教授。JST CREST xDiversityプロジェクト研究代表。「デジタルネイチャー(PLANETS)」、「2030年の世界地図帳(SBクリエイティブ)」、写真集「質量への憧憬(amana)」など著書多数。Photo:Mika Ninagawa

デジタル技術とアートを融合するメディアアーティストであり、大学教員や研究者など、さまざまな顔を持つ落合陽一さん。ジャンルを横断し、社会への提言や未来へのヴィジョンを発信している。コロナ禍によって加速したデジタルシフトは、これからどうなっていくのだろう？

「いろいろなところで取捨選択が進んでいくと思います。オンラインでの会合などが定着して、僕たちは場所や距離にとらわれない、新しい働き方を手に入れました。今まで、会議や講演などの出張が多く、大学の講義を休講しなければいけないことがよくありました。今ではオンラインで両方できるようになつた。脱ハンコの推進などもそうですが、技術的な下地は整つていて、今まで進まなかつたことが、常識とされていた儀礼的なことを見直すことでも一気に変わりましたよね」

ウイズコロナの時代を迎えた新たなルールや方法の構築が始まっている。オンラインやデジタル化が進む一方で、人と会うことや体験することの大切さも改めて確認されるようになった。

「会議などはオンラインが確実に定着していくと思いますが、オンラインのイベントなどは集客が難しくなつてきたようです。オンライン飲み会が少なくなったように、臨場感や共有感など、くつた

やはり実際そこへ行かないと、ということはまだまだ多い。大学の授業がオンラインになって、それでは在籍する意味やお金を払う価値がないという意見が出ています。大学の価値は授業だけではなく、人間関係、人的ネットワークを作ることだつたという話です」

コロナ禍を追い風に、政府はデジタル庁を立ち上げ、企業がIT技術を駆使して推進するスマートシティ構想も現実味を帯びてきた。実現すると、どんなことが起こつてくるだろうか。

「実生活に必要な書類などがデジタル化されると契約や申請などが簡潔でスピードになりますが、こういう世界ではデジタルが原本、出力された書類はコピーと、価値が逆転してきます。プロダクトでいえば、データがオリジナルだから3Dプリンターで作れるようなものはコピーとなつて価値が下がります。一方でアートや工芸品のように、人の手仕事でしか成しえないアナログなものの価値はより上がつてきます。僕はアートのギャラリーアーティーなども企画していますが、デジタルと現実的体験をどうつなげていくか？今はそいつた課題に取り組んでいます」

「デジタルと自然が一体となることで、新しい価値やライフスタイルが生まれる『デジタルネイチャー』という概念を発信する落合さん。コロナ禍によつて、

人はよりクリエイティブになるとくう。「毎年音楽会をディレクションしていくが、今年の10月はストラヴィン斯基の『兵士の物語』を演奏しました。この曲はスペイン風邪が流行している真つただ中、1918年に書かれたものです。感染の影響で大規模なオーケストラでの演奏ができなくなつたため、小規模編成の楽曲を演奏しなければならず、新たに作曲されました。結果的にいろいろな楽器の特徴が出て、非常に美しい楽曲が完成しました。ルネサンスのときも、災禍によつて新しい芸術が生まれてきましたし、ニュートンが万有引力を発見したのも、ペストで大学が休校なつた時期ですからね」

人類はたくましい。変化する環境を乗り越えて進化していく。

「例えば美味しいものが食べたい、といふ人間の根本的な欲求は変わりません。だからウーバーバーイーツのような業態が躍進して、本当に美味しい料理がなくなることはありません。今、世の中にはライフスタイルの急激な変化でメンタルヘルスが優れない人も増えてます。オンラインでもそんな人たちを早く見つけられる、チェックテストの開発も進んでいます。厄災は新しい

発明や発見が生まれるチャンスでもあるから、そういう意味で、今の状況や変化を僕は決して悲観していません」



(右)「テクノロジーによってオーケストラを再構築する」というテーマのもと、2018年からスタートした「落合陽一×日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクト」。10月の第5回公演は、新しいオーケストラのあり方を模索し、劇場鑑賞に加え、オンラインにしかできない新しい鑑賞体験を実現。(左)アーティストとしての作品のひとつ。金属球が車輪状の装置の上を浮揚して回転し続けるインスタレーション。《レビトローブ》(2017)。



仕事の独創性や生産性、質を高めるために大事になつてくると感じました。僕は昔から旅をするのが好きなんですが、しばらく海外にいけないので、長年興味のあつたキャンプを始めてみました。いろいろ試した結果、今は電気自動車で車中泊をしながら国内を回っています。車ならキャンプ場でもソーシャルディスタンスが取りやすいし、EVなら寒い日には一酸化炭素中毒の心配をせずエアコンをつけたまま寝ることもできます。電源もあるので仕事にも困らない。コロナ禍でも、今あるテクノロジーを活用し経験や知識を積み重ねて、とても合理的な旅の形を手に入れることができました。このようにオフラインで培った経験を仕事につなげることができたら、机に座ってただインターネットの中の情報を探っているよりも、はるかに有益な価値が生まれてきます」



〈上〉読書はSF小説、アウトドアのエッセイ、話題の人新世(人類が生態系に影響を与える地質時代)についてまで、多岐にわたった。〈中〉趣味のキャンプは、ギアにもこだわり本格的。自然のなかに身を置くことでバランスを取る。〈下〉NEUTは何にも偏らないを意味するNEUTRALを省略した造語。先入観に縛られず「エクストリーム」なトピックを取り上げている。neutmagazine.com

Profile

SIMONE代表、デザイナー、クリエイティブディレクター。2003年にブランディングエージェンシー「SIMONE」を設立。国内外さまざまな企業に向け、ヴィジョン、デザイン、テクノロジーを融合した実践的なブランディング、コンサルティング、事業開発を行っている。

ブランディングとは、時代の変化を先読みし、長期的な視点に立つたブランドの価値を創り上げること。単にパッケージをつくる仕事ではなく、企業の強みと社会のニーズをつなぎ合わせる「デザイン」をすることであり、それが自身の役割だと語る。そんなムラカミさんが今もっとも注目しているのは、若い世代のクリエイタ―。「ある車メーカーのウェブマガジンでミレニアル世代を取材する連載をしています。経済成長のない時代に育ち、どこか冷静な20代の子たちの話を聞くのはとても刺激になります。最近だと『NEUT Magazine』というオンラインマガジンの編集長の平山潤くん。28歳の彼は、ものすごくニュートラルな視点を持っていて、問題提起の仕方もとても面白いんです」

『NEUT Magazine』がテーマにして

2 011年の東日本大震災では発生からわずか6時間後に「SAVE JAPAN!」サイトを立ち上げ、いち早く被災地支援を行つたムラカミカイエさん。今回の社会の変化をどう受け止めているのだろうか?

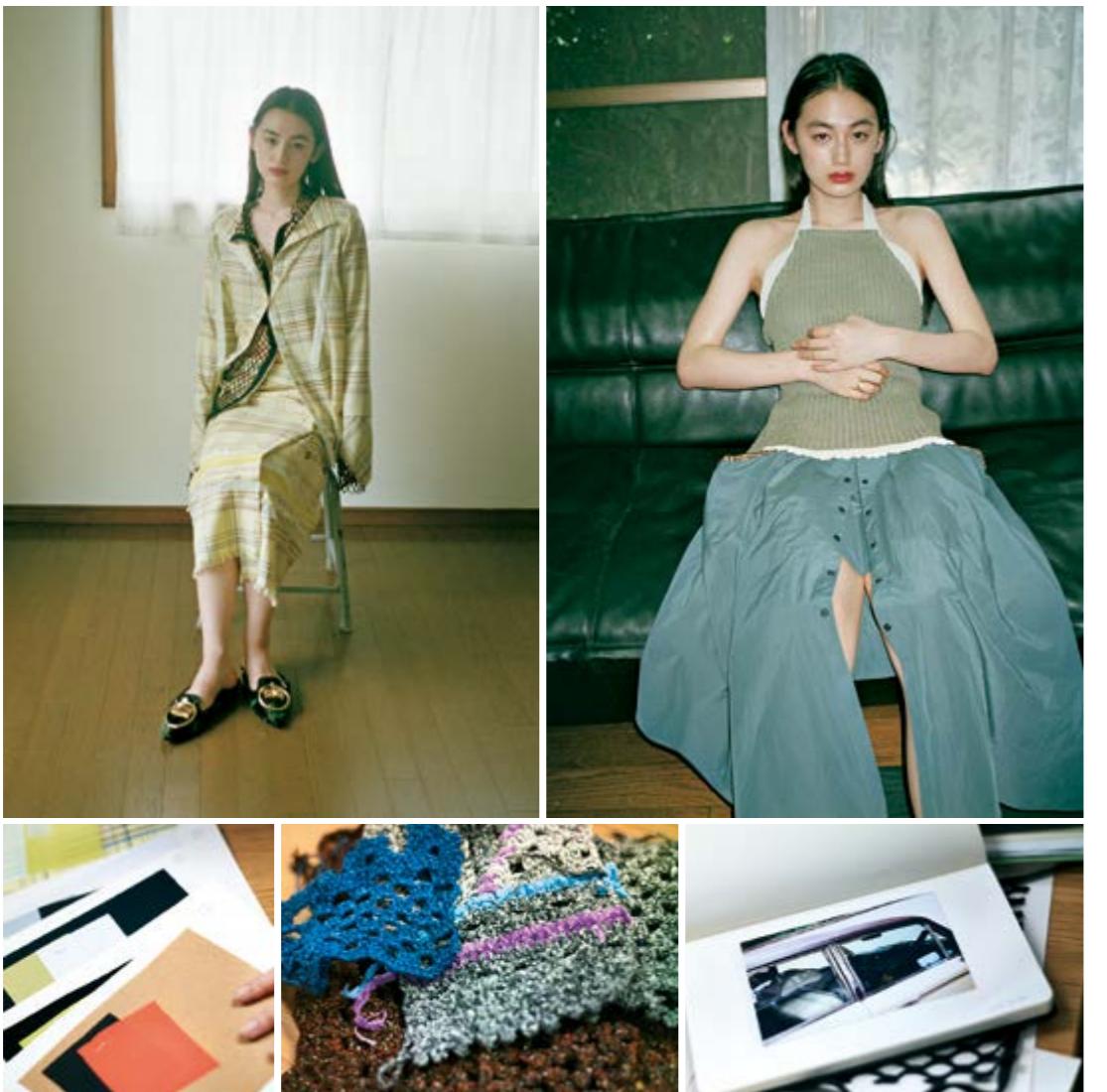
「ステイホーム期間中は読書に取り組んでいました。普段から本は読むほうですが、短期間でこんなに読んだことは、今までの人生ではなかつたんじゃないかなと思います。3~4ヶ月でおそ

らく100冊近くは読んだでしようか」先が見通せない状況だからこそ、今まであまり関心のなかつた分野も含めて、さまざまなジャンルの本を読んだ。「自分の現在地を確認したい」というのが読書に向かつた大きな理由だった。「未来に対する羅針盤でもいうのでしょうか。自分が今、社会的、文化的、経済的にどの位置にいるのか。そのうえで、自分がこれまでやつてきたことをどう生かせそうか。そこを一度整理

しないと、この先進んでいくのが難しかもしれないと思つたんです」

読書を通して思考の整理とアップデートを行つた結果、あらためて実感したのは「インプット・リアルに体験すること」の重要性だ。リモートワークが普及するとオンラインではスピード感をもつて仕事をすることが要求されるが、オンラインの過ごし方で効率や成果に差がつくとムラカミさんはいう。「オンラインでどんな体験をするかが、

未来の新たな価値を探し出していく



〈上段2点〉アカネ ウツノミヤ2021年リゾートコレクションより。「いつもより明るいトーンになりました。リアルに感じてほしかったので、ルックもスタジオではなく、室内で撮影しました」。〈下段・右〉2020年秋冬コレクションは英国のクラシックカーがイメージソース。写真を撮影するのが好きで、自分で撮影したものをアルバムにして創作のヒントにしている。〈下段・中〉ニットは、アカネ ウツノミヤの人気アイテム。生地サンプルの一部は、今も自ら手編みで制作する。これは過去シーズンの試し編み。〈下段・左〉コロナ禍の影響で展示会に来場できなかった「実物を手に取れない」顧客のために、スワッチ(生地見本)を作って郵送した。

暗いものは作りたくないなとか、ルックよりも身近に感じられるよう等身大のモデルで生活感のある家の撮影をしたり。小さな変化ですが、今まででは写真をアップするだけだったSNSに、自分の思いや素材作りのストーリーなども書くようになります。それがきっかけでお店に足を運んでもらえれば、という願いもこめて

最近ではECの強化やショールームのデジタル化に取り組むブランドも増えているが、蓮井さんはむしろ「スロウ」であることに価値を見出し、自分の立ち位置と進むべき方向を再確認した。

「今の時代は情報が多く、物事の進むスピードも速いので、私自身、何かに感動することが少なくなっています。自分が目指すのは、もつとゆったりとした感動のある世界。何かに流されもの作りをするのではなく、作り手の思いが感じられたり、手仕事の温度のあるものを変わらず作っていくたい。ファッショントレンドは生活の必需品ではありませんが、人を元気にしたり、日常生活を豊かにしてくれるものです。作るからには大事に着てもらえるものを届けたい」

海外にいる友人の中には、さまざまな事情から、ブランドを続けられなくなつた人も多いという。

「日本はマーケットに力があって、ブランドを続けていく環境としてはとても恵まれています。これからまた10年続けていくために、ゆっくり、時間をかけて作ってきたアカネウツノミヤの空気を大事にしていきたいと思います」



時間をかけて作った
ブランドの空気を
これからも大切に

Profile

高校卒業後に渡英し、セント・マーチン美術大学 BAテキスタイル科を卒業。同校のMAファッションニット科に1年在学。帰国後、アパレルブランドで2年間の勤務後、2009年にニットを主体とした自身のブランド「アカネ ウツノミヤ」を立ち上げる。2010 AWコレクションより展示会形式での発表を行う。

「私のブランドは小規模で、コレクションの発表もランウェイショーではなく、展示会形式です。大量生産ではありませんし、クリエイションプロセスは、自分なりのペースで行っています」

こう語るのは、人気ファッショニングランド「アカネウツノミヤ」のデザイナー、蓮井茜さん。有名デザイナーを数多く輩出している英国、セント・マーチンで服作りを学び、日本でブランドを立ち上げ、今年で11年になる。

「私はニット科での作りを学んだのでも、テーマから入るのではなく、生地や素材からイメージを膨らませてコレクションを組み立てています。学生時代も自分が好きなもの、例えば自然の風景や川の写真を撮ってきて、それをニットやテキスタイルで表現するという作業をひたすら繰り返しました。その方法は今も変わらず、テーマ性というよりも自分のパーソナルな考え方や感覚が、作る服には投影されています」

それは今回の社会の変革から、年代も影響を受けていないのだろうか? 「もの作りはひとりではできないので、いろいろ考えることはありました。

「私のコレクションがオンラインで開催されるなど、コロナ禍で大きな影響を受けたファッショニングランド。近年はサステナビリティに対する意識の高まりもあり、さまざまな面で変革を余儀なくされている。

「私のブランドはオンライン

で開催されるなど、コロナ禍で

大きな影響を受けたファッショニングランド。近年はサステナビリティに対する意識の高まりもあり、さまざまな面で変革を余儀なくされている。

「私のブランドはオンライン

で開催されるなど、コロナ禍で

大きな影響を受けたファッショニングランド。近年はサステナビリティに対する意識の高まりもあり、さまざまな面で変革を余儀なくされている。

Story_10

「新しい生活」に寄り添つて



Photos by Robert Campbell

ビーガン料理にはまつます！

には見えないし、いつ終わるとも分からな
いコロナ禍である。なので、「ウイズ」と言わ
れてもピンと来ない。ウイズがあれば当然ウイズア
ウトも選択肢としてあるはずなのだが、ない。頼みも
しない生活のサイド・ディッシュみたいに、付き合う
しかない。この春から身につけてきたニューノーマル
な予防対策をしっかりと守りながら、当分このまま、
日々の気分を上げていくしかないということである。
季節が春から夏、夏から秋、そして冬へと三回転
している。その間に、洋服も薄いものから厚めのも
のへと、色彩も形も、生地もおおよそ一巡している。
わたくしは洋服が好きである。というよりも、洋服
を見て回ることが好きで、三月の声を聞くとまずシエ
ルのように薄くて風をよけてくれる明るい色のスプ
リング・コートを買いたい。しかし今年、不要不急
ともいえなそうなスプリング・コートは買いそびれて
しまい、あれよという間に夏に突入した。してみると、
買い出かけることは徐々に増えてはいくけれど、選んでいるものはいつもと違う。

我が家の中はクローゼットは三つに分かれている。部
屋着の棚と、駅まで着て行ける近所着の棚と、その
先の世界で働いたり遊んだりするのに適した洋服を
収めたウォーキングクローゼットである。コロナ禍で
生活するようになつて以来、三つの空間は混ぜ混ぜ
になつてしまっている。着て気持ちよいのは部屋着で、
それがズーム会議などリモート・ワークを重ねてい
る内に仕事着に代わり、身体をやさしく包んでくれ
るので種類を買い足してゆく。近所を散歩するのに
も良いのではないか、と感覚が変わり、でもさすが

には見えないし、いつ終わるとも分からな
いコロナ禍である。なので、「ウイズ」と言わ
れてもピンと来ない。ウイズがあれば当然ウイズア
ウトも選択肢としてあるはずなのだが、ない。頼みも
しない生活のサイド・ディッシュみたいに、付き合う
しかない。この春から身につけてきたニューノーマル
な予防対策をしっかりと守りながら、当分このまま、
日々の気分を上げていくしかないということである。

季節が春から夏、夏から秋、そして冬へと三回転

している。その間に、洋服も薄いものから厚めのも
のへと、色彩も形も、生地もおおよそ一巡している。
わたくしは洋服が好きである。というよりも、洋服
を見て回ることが好きで、三月の声を聞くとまずシエ
ルのように薄くて風をよけてくれる明るい色のスプ
リング・コートを買いたい。しかし今年、不要不急

ともいえなそうなスプリング・コートは買いそびれて
しまい、あれよという間に夏に突入した。してみると、
買い出かけることは徐々に増えてはいくけれど、選んでいるものはいつもと違う。

我が家の中は

クローゼットは三つに分かれている。部

屋着の棚と、駅まで着て行ける近所着の棚と、その

先の世界で働いたり遊んだりするのに適した洋服を

収めたウォーキングクローゼットである。コロナ禍で

生活するようになつて以来、三つの空間は混ぜ混ぜ

になつてしまっている。着て気持ちよいのは部屋着で、

それがズーム会議などリモート・ワークを重ねてい

る内に仕事着に代わり、身体をやさしく包んでくれ

ので種類を買い足してゆく。近所を散歩するのに

も良いのではないか、と感覚が変わり、でもさすが

には見えないし、いつ終わるとも分からな

いコロナ禍である。なので、「ウイズ」と言わ

れてもピンと来ない。ウイズがあれば当然ウイズア

ウトも選択肢としてあるはずなのだが、ない。頼みも

しない生活のサイド・ディッシュみたいに、付き合う

しかない。この春から身につけてきたニューノーマル

な予防対策をしっかりと守りながら、当分このまま、

日々の気分を上げていくしかないということである。

季節が春から夏、夏から秋、そして冬へと三回転

している。その間に、洋服も薄いものから厚めのも

のへと、色彩も形も、生地もおおよそ一巡している。
わたくしは洋服が好きである。というよりも、洋服
を見て回ることが好きで、三月の声を聞くとまずシエ
ルのように薄くて風をよけてくれる明るい色のスプ
リング・コートを買いたい。しかし今年、不要不急

ともいえなそうなスプリング・コートは買いそびれて
しまい、あれよという間に夏に突入した。してみると、
買い出かけることは徐々に増えてはいくけれど、選んでいるものはいつもと違う。

我が家の中は

クローゼットは三つに分かれている。部

屋着の棚と、駅まで着て行ける近所着の棚と、その

先の世界で働いたり遊んだりするのに適した洋服を

収めたウォーキングクローゼットである。コロナ禍で

生活するようになつて以来、三つの空間は混ぜ混ぜ

になつてしまっている。着て気持ちよいのは部屋着で、

それがズーム会議などリモート・ワークを重ねてい

る内に仕事着に代わり、身体をやさしく包んでくれ

ので種類を買い足してゆく。近所を散歩するのに

も良いのではないか、と感覚が変わり、でもさすが

目

には見えないし、いつ終わるとも分からな
いコロナ禍である。なので、「ウイズ」と言わ
れてもピンと来ない。ウイズがあれば当然ウイズア
ウトも選択肢としてあるはずなのだが、ない。頼みも
しない生活のサイド・ディッシュみたいに、付き合う

しかない。この春から身につけてきたニューノーマル

な予防対策をしっかりと守りながら、当分このまま、

日々の気分を上げていくしかないということである。

季節が春から夏、夏から秋、そして冬へと三回転

している。その間に、洋服も薄いものから厚めのも

のへと、色彩も形も、生地もおおよそ一巡している。
わたくしは洋服が好きである。というよりも、洋服
を見て回ることが好きで、三月の声を聞くとまずシエ
ルのように薄くて風をよけてくれる明るい色のスプ
リング・コートを買いたい。しかし今年、不要不急

ともいえなそうなスプリング・コートは買いそびれて
しまい、あれよという間に夏に突入した。してみると、
買い出かけることは徐々に増えてはいくけれど、選んでいるものはいつもと違う。

我が家の中は

クローゼットは三つに分かれている。部

屋着の棚と、駅まで着て行ける近所着の棚と、その

先の世界で働いたり遊んだりするのに適した洋服を

収めたウォーキングクローゼットである。コロナ禍で

生活するようになつて以来、三つの空間は混ぜ混ぜ

になつてしまっている。着て気持ちよいのは部屋着で、

それがズーム会議などリモート・ワークを重ねてい

る内に仕事着に代わり、身体をやさしく包んでくれ

ので種類を買い足してゆく。近所を散歩するのに

も良いのではないか、と感覚が変わり、でもさすが



ロバート・キャンベル
Robert Campbell

ニューヨーク市出身の日本文学研究者。江戸から明治時代の日本文学が専門で、特に19世紀の都市空間と人的心に強い関心を寄せている。また、文芸ジャンルを超えて、日本の文化、メディア、思想などにも造詣が深い。テレビMCやニュース・コメンテーターなどを務める一方、新聞や雑誌の連載、書評、ラジオ番組出演など、さまざまなメディアで活躍中。愛猫の名はタ吉。

食べ物の好みもかなり変わった。家ご飯の回数が以前より増えたので、食材や産地などへの拘りができて、その知識が増えるほどシンプルで素材の力が際立つものが美味しく感じるようになつた。ミールキットを取り寄せ、今まで家では滅多に食べなかつたビーガン料理にも挑戦することが増えている。レストランでの会食の回数は減つても、以前から親しくしている人たちと、お互い美味しい！と納得できて、安心できる店で料理を囲むのは、やはり特別な時間だ。そして帰つくるとホッとする。家も、一日の仕事を疲れ帰つて来る場所から、逆に出かける時に元気を持たせてくれる空間に変えていきたいと思う。望まないウイズではあるが、付き合っていく内に意外な発見があつて、力にできたら、その次には明るい春が待つていると信じたい。

